

2017年(平成29年)6月24日(土曜日)

品質管理優秀に6社

日測協が表彰 公共測量で成果 道内

日本測量協会は23日、札幌東急R1ホテルで公共測量品質管理優秀賞の表彰式を開いた。道内からは基準点測量部門で

北日本測地(本社・札幌)スコーンシャ(同・帯広)やまぎコンサルタント(同・旭川)ランドプランニング(同・十勝)の4社、地図部門で北海道測(同・札幌)パスコ札幌支店(同)の2社と計6社が受賞し、記念の盾を伝達した。

公共測量の成果検定業務を担当する日測協が検定を受けた成果から品質が優秀なものを選定し、対象企業を顕彰する。この第13回表彰は2016年度の検定分を対象で全国30社が受賞した。

盾と記念品を伝達した日測協北海道支部の大家義則技術センター長は「北海道地区は全国でも受賞社数が多い。6社も表彰するのは初めて」と称賛を述べた。今後も測量技術の研さんで品質確保の向上に努めてほしいと呼び掛けた。

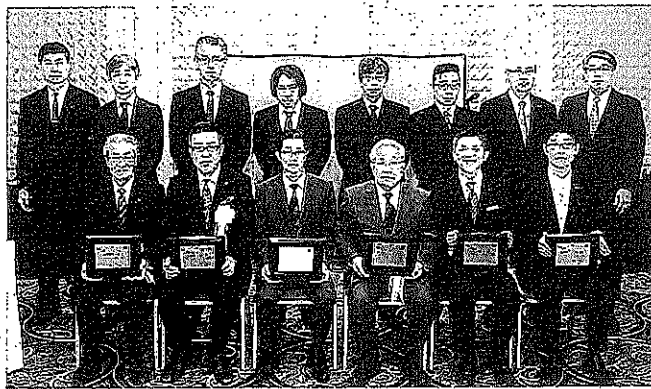
北日本測地は3年連続の受賞。全国でも3年連続の受賞は11社のうちの1社。八尾谷英社長は職員の中で受賞できるという競争心が生まれ、成果品の精度を上げる努力をしたと感謝。2度目の受賞となったスコーンシャの関本裕幸社長は「公共測

量は何よりも品質が重要で励みになる。連続受賞できるのは頑張っている」と決意を述べた。

2年連続3回目のやまぎコンサルタントの山崎俊彦社長は「2年連続は大きな励み。受賞は周りへの影響力が大きくなり、職員も励みになる」と話した。3年おりの回

目のランドプランニングの杉本孝社長は「当社は測量部門と設計部門がある。これからも切磋琢磨(はつさたくま)できたい」と喜んだ。

3度目の受賞となった北海道測の矢橋潤一郎社長は「連続で受賞できるのはうれしい」と喜んだ。



受賞者全員で記念写真に納まった

いものだと思っていた」と笑いを誘い、連続受賞への努力を決意表明。札幌支店として、初受賞となったパスコの林義政理樹は「全国では3支店を含め3支部で受賞した。ドローンなど測量技術も変化してきている。受賞をさらに頑張りたい」と喜んだ。

北海道通信

平成29年 6月26日【月曜日】

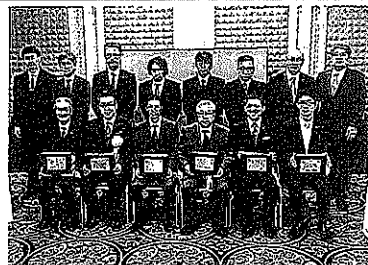
日測協「公共測量品質管理優秀賞」

スコーンシャなど道内6社

基準点、地図作成部門で受賞

日本測量協会は、公共測量成果の品質が特に優れている測量会社へ贈る第13回「公共測量品質管理優秀賞」に、(株)スコーンシャ(帯広、関本裕幸社長)など道内から過去最多の6社を選んだ。二十三日、札幌東急R1ホテルで表彰式を行い、品質の高い測量成果を納めた各社を顕彰した。

日本測量協会は、公共測量基準点部門で、北日本測地(札幌)スコーンシャ(帯広)の四社、地図作成部門で北海道測(札幌)矢橋潤一郎社長、三年おりの三回「スコーンシャ」(十勝)の二回、やまぎコンサルタント(札幌)山崎俊彦社長、初受賞の



表彰盾を手に記念撮影に納まる受賞各社の代表

二社が栄冠を手にした。六社は二十八年度実地の測量、市町村等経緯の基準点測量や地図作成で高い評価を得た。全国では北海道を含め三十

表彰式では、同協会北海道支部の大家義則技術センター長が、受賞各社に表彰盾と記念品を贈り、優れた品質管理技術をつたえた。大家義則技術センター長は公共測量は各種公共事業に先行して実施され、その測量成果の良否は後続のインフラ整備の品質に直結する点を述べ、その重要性を強調。各社の成果品の精度の高さをたたえ、今後も測量技術の研鑽と品質確保の向上に努め、社会基盤に欠かせない地理空間情報の整備に貢献を」と二層の活躍を期待した。

この表彰は品質法施行を契機に平成十七年度に創設。一定基準を満たす年間三物件以上の検定を同協会が受けた作業機関等を対象に、品質管理が特に優れた測量会社を表彰している。二十八年度は道内で基準点測量六十五社、地図作成八社が実績基準を満たし、選考対象となった。